

令和2年度 日置市立上市来中学校『学校便り』



しげひら

第7号 令和2年12月18日

学校ウェブサイト: www.ed.city.hioki.kagoshima.jp/~jh-kamityu/blogn2611a/blognplus/

上市来中キャッチフレーズ

～個性輝き、協力し、笑顔あふれる学校～

おもな行事



8日(金) 始業式
9日(土) 椎茸菌打ち体験
12日(火) 3年実力テスト
13日(水)～14日(木)
鹿児島学習定着度調査

5日(金) 入学説明会
17日(水)～19日(金)
学年末テスト
19日(金) 避難訓練
25日(木) 授業参観・学級PTA(1・2年)



年末・年始を迎えるにあたって

校長 西園浩二

今年は学校や普段の生活が新型コロナウイルスにより大きく影響を受けた年になりました。そんな今年も残すところあとわずかとなりましたが、この1年、皆さんにとってはどのような年だったでしょうか。

年末・年始の意義を考えると、これまでの1年を振り返るのが年末。そして、これからの1年の目標を立てるのが年始という考え方があります。皆さんは今年をどのように振り返り、そして来年の目標をどのように立てるのでしょうか。今年やり残したこと、来年実現したいことなど、この1年を振り返って考えてみましょう。

冬休みを迎えるにあたって、中3の冬休みという時期は、目前に迫った受験に向けてまとまった学習時間が取れる最後のチャンスとなります。冬休みが終われば、入試が始まります。そこで、3年生に必ず取り組んでほしいことは、過去の入試問題にチャレンジすることです。入試問題に取り組むことで、自分の得手・不得手な部分を知ることができ、学習内容を精選できます。できないところ・わからないところこそ勉強すべきところです。

「目の色が変わってくる。」物事に真剣に取り組む様子を表します。大きな節目にある3年生が入試に正面から向き合いチャレンジ(挑戦)する姿を応援したいと思います。1・2年生もできることをコツコツと積み重ねて計画的に学習の定着を進めてください。

2学期も残りわずかとなりました。まだまだコロナ禍ではありますが、健康・安全面には十分気をつけて充実した楽しい年末・年始をお過ごしください。

授業参観&学校保健委員会&学級PTA

11月24日(火) 授業参観・学校保健委員会・学級PTAが実施されました。たくさんの保護者の方々に会っていただきました。ありがとうございました。



祝

歴代1位! 新記録樹立!

11月14日(土)に校内マラソン大会を実施しました。2年女子新村優依さんが11年ぶりに記録を樹立しました。歴代最高タイムを1分以上も縮めての優勝となりました。男子は3年梅木祐真くんが意地を見せて優勝しました。おめでとうございます♪全体の結果は下記の通りです。



【女子(3.0km)】

- 1 新村優依(2年) **12分20秒**
- 2 徳重 瞳(2年) 13分47秒
- 3 大迫朱音(2年) 13分48秒
- 4 水澤遥音(1年) 13分51秒
- 5 留盛菜々美(2年) 14分19秒

【男子(4.2km)】

- 1 梅木祐真(3年) 17分55秒
- 2 山之口翔琉(3年) 18分3秒
- 3 丸峯虹星(2年) 18分7秒
- 4 田丸想翼(2年) 18分24秒
- 5 重水景斗(2年) 18分32秒

冬休み

冬休みの子どもの安全について

25日からいよいよ冬休みとなります。この期間は安全上、健康上の問題・事故等が心配されるところです。ついては、安全に過ごすことができるよう、ご家庭でも次のようなご指導をお願いします。

- ① 交通安全を厳守すること。特に自転車の安全な乗り方とヘルメット着用を守りましょう。
- ② ネットやSNS・ゲーム等については、トラブルに巻き込まれたり、長時間ににならないように家庭でルールを決めましょう。

★「冬休みのしおり」の中にある『冬休みの生活心得』を親子で必ず確認してください。



期末テスト

11月25日(水)～27日(金)の3日間で、全学年9教科の2学期末テストが実施されました。

返却されたテストを参考にして、冬休みの学習の計画を立てましょう。

生徒総会

11月17日(火)に生徒総会が実施されました。

この会をもって3年生から2年生に、生徒会の主な活動がバトンタッチされました。



鹿児島県作文審査会 特選作品

万緑の光の中へ

三年 北山 莉子

こはくは結局、トイレの中でうずくまっていたまま横になつて寝ただけだった。尿が便が出ないからじゃないか、と私たちは考えて、トイレの中に抱えて入れてみたのだ。こはくは尿も便もせず、入れた状態でじっと横たわっていた。口元に牛乳やフードを近づけるものの、口をつけようとはしなかった。そのまま数時間が過ぎ、父が仕事から帰ってきた。

「……明日、病院に連れていくか。」

そのときのこはくは、もう手足にも力が入らず、自力で立つていられない状態になっていた。父の提案にみな黙ったまま、反対の意思を表すことはなく、こはくを背に家へ入ろうとした。もし寒さで明日の朝動かなくなっていたらどうしよう。イヤな不安がいつまでも消えなかった私は、こはくを抱きかかえて、今日だけは家の中に入れてと、父に懇願した。

戸を開けて玄関に入ったとき、こはくの口元が、ぱくぱくと乾いた音を立てた。何か言ってる、何て言ってるの。その弱く光る、潤んだ緑色の瞳を見た瞬間、悟ってしまった。ああ、こはくからのお別れの挨拶だ……と。

家族で土日に畑作業をするとき、こはくも時々一緒に連れて行く。喜んだ様子で畑の周りを自由に遊び回る。その日も、日陰で涼んだり私たちに甘えて作業の邪魔をしたりと、自由きままに動いていた。ふと目を離れた後にこはくの姿を探すと、あれ、勢いよく走り出している。あつけにとられる私たち。全力で無心に走るこはく。あ、そっちは崖が、と思った瞬間、二十メートルはある深い崖の下に、スツとこはくの体は飲み込まれていった。私たちも全力で崖に駆け寄り、「こはくっ！」と姿を求めて声を上げながら下まで降りた。

いた。ああ、無事だ。家族全員がこはくの元へ駆け寄って、ふーっと大きな息をつくとき、こはくは、ん、何かあったの、と言わんばかりのケロッと



した表情で、不思議そうに私たちを見つめる。また、本当にしようがない男の子だね、こはくは。時々、私たちをハラハラさせるけれど、いつも何事もないような、平然としたこの顔つきで家族を和ませる。

こはくの容態が気が気でなくて、慌ただしく風呂から上がる。そうだ、ご先祖様に……。濡れた髪のままに仏壇の前に正座をし、どうか、こはくを助けてください、と強く祈った。

以前、他の猫とけんかをして帰ってきたときも、ご先祖様にお祈りをしたんだ。そのときは左目に大きなけがをしてしまった。「脳に影響するといけない。手術しましょう。」

動物病院の先生に告げられ、こはくは左目を失うことになった。幸い脳への影響は出なくて済んだ。術後、ブラシでさすると、足を開いて喜んだそぶりを見せた。本当、しょうがない子だなあ。でも、無事で良かった……。

ご先祖様、お願いします、どうか。祈る私の横に父が座り、つぶやくように言った。

「莉子、こはくは、俺が帰ってくるのを待ってたんだな。」父の言葉の意味も意図も分からない。意識していたら怖くて訊けなかった確認の言葉が、このとき無防備に口から出てしまった。

私の言葉に父は、小さく、うなずいた。

信じられない、そんなの。こはくの元へ寄る。横になって舌を出しているこはく。その体に触れる。ほら温かいよ、本当なの。私たち家族に別れを告げ終わったからなのか、またこの子は、自由にどこかへ行ってしまう。しょうがないなんて今度ばかりは思えない。こはくの緑の瞳は潤んだままだった。でもその光が指す方向は、はるか遠いところ。どんなに私たちが全力で探し追いかけても、到底たどり着けない、遠いところへ……。

半年が過ぎ、初盆を迎えた。家族は今も、こはくとの思い出をぼつぼつ語り合う。そんなとき、みんなふと家の外を眺める。真夏の光が万緑を差して、小枝の葉が揺れる。こはくが相変わらず、自由に走り回っていいそうで。

南日本新聞「若い目」

安心して魚がすめる豊かな海に

3年 梅木 終真

僕の趣味は釣りだ。母の実家があるいちき串木野市羽島には、漁港に延びる磯と軟らかな砂地が広がる。磯にはアラカブやベラ、グレ、チヌなどがいる。砂地にはエソやキス、マゴチなどが生息している。

この夏、久しぶりにさおを振ると、魚でも根掛かりでもない初めて

の感覚があつた。

釣れたのは、明らかに人間が捨てたごみだった。



去年、持続可能な開発目標（SDGs）という世界的な取組を学校で学んだとき、その目

標の一つに「海の豊かさを守ろう」があることを知った。人間が捨てたビニール袋をクラゲと間違えて食べたウミガメが死んだり、マイクロプラスチックと呼ばれるプラスチックが魚の体内に入って害を及ぼしたりしている海の現状がある。

釣りに行くと、それまで毎回2匹以上は魚が釣れていたが、1年半ぶりに来てみると、釣れたのはごみだけだった。安心して魚がすめる海にするために、僕はそこをみを持ち帰って捨てることにした。次に来たときには、魚のあたりを感じる海であってほしい。